



Coffee Grounds Green

コーヒーカスで育てたコーヒー苗木、 水切れ実験報告!



CGG通信

2020年6月8日号

皆様、こんにちは。6月に入って気温が上がり始めましたね。気になるのは水遣りについてではないでしょうか。今回はCGGが萎れた時にやっている事や失敗した方法など、体験談をお伝えします!

いつもの方法!ジフィーポット編



2日お水を断って萎れた状態



水切れに注意しながら紙ポットで底面給水



24時間後 復活!

実験!水を張ったバケツにポチャン!
スバルタ腰水編



3週間後新しい葉が!!!

腰水法で復活を目指したのですが、まるで死に際に息を吐くかのように小さい葉が出てそのままダメになってしまいました。少し経ってから、コーヒーノキとは違う芽が出てきました。試しにgoogleレンズで見たところ、月桃、生姜、ウコン等の候補が挙がりました。折角芽吹いた命ですので、このまま育てようと思います。【reincarnation】そんな言葉が頭に浮かびました(M)

腰水...鉢を入れたバケツに鉢が半分隠れる程度の水を貯めて給水する事。日陰などの涼しい場所で、手放す前にぜひお試しください!



販売前の苗で、腰水スタート!
(二日おきの水替えて浸けっぱなし)

CGGの用土はコーヒーカス! CGGの用土はコーヒー堆肥と培養土を合わせています。コーヒーカスは堆肥になってもさらっとした感触は変わりません。そう、水はけがとても良いのです。

ジフィーポットは蒸発もする! さっと水分が浸透するジフィーポットは、水はけの良いコーヒー堆肥にもささっと水分を伝えてポット全体で給水します。それだけに蒸発も全体から。乾燥に気を付けてたっぷり与えてください。

鉢と土に合った水遣りを! 水はけや蒸発の具合によって水遣りの頻度は変わると思います。CGGのジフィーポットは、室内では1日おきに、屋外では真昼を避けて1日1回~2回行っています。鉢に植え替えた苗木は屋外でも1~2日に1回程度。土の乾き具合や鉢の重さなども合わせて状態をよく観察しながら、葉が萎れても慌てず諦めず、楽しく水遣りを続けてください!

植え替えたときは! 植え替えは気温のピークを避けて行い、鉢底から流れ出るくらいたっぷり水遣りをして涼しい場所で休ませています。人間も暑い時の運動は辛いし、運動後は涼みたいですね~ちなみにCGGのコーヒーノキは、畑で育った実生苗木をコーヒー堆肥入りのジフィーポットに段階を付けて数回植え替えて、1ヶ月~しっかり定着したものをお出ししています。

いかがでしたか?環境によって育て方は様々ですので、観察しながら良い方法を見つけて下さいね!

おまけ

土からは、いろいろ芽吹く(M)

♪Once upon a time遙かな過去から♪命もユーミンも永遠なり(T)